

善福寺川上流調節池計画が始まったら… 私たちの暮らしはどのような!?

～グリーンインフラも含めた対策の見直しを!～

今杉並では、5.8kmに渡って区内幹線道路や善福寺川の地下深くをシールド工法で掘って調節池とする計画が、東京都によって進められています。

この計画で、杉並の宝である緑豊かな樹木と清らかな湧水が失われてしまいます。シールド工事の事故が各地で起きており、大地震の時大丈夫なのか、懸念されます。善福寺川流域住民は、工事計画を一旦ストップして、見直すことを求めます!



善福寺川流域の樹木と地面を守る環境保全こそが、最も有効な治水対策です。

地下を穴だらけにし、至る所コンクリートで固める環境破壊の治水対策は、時代遅れの危険な対策です。国土交通省も、樹林や田畑を保全する流域治水の方針を変えました。

この「国の指針」のように、環境負荷の少ない対策を住民と共に考えることを、強く東京都に求めていきましょう!

オンライン署名にご協力ください



SNSでの拡散にご協力ください



杉並区善福寺川流域の自然と暮らしを守る会 note :
https://note.com/zenpukuji_green/

連絡先

善福寺川緑地緑の会 (丸山) : maruemi0007@ezweb.ne.jp

せきれい橋住民有志 : 3.naritanishi@gmail.com

西荻・善福寺地域の環境を守る会 : nishiogi.zenpukuji@gmail.com

住宅の真下に 巨大トンネルが?!

工期**10年以上** 総工費**1000億円**の
大規模工事の実態は?

次世代に誇れる治水事業のモデルとしたい

巨大管理棟と取水口が建設されると、近隣の子どもたちに愛されている「どんぐり公園」の一部も失われ、約25軒の地域住民は立ち退きを迫られます。貴重な湧水（23区内唯一）や地元の小学校と里川に返す活動も行われる上流域の貴重な自然が喪失します。この地の文化を破壊せず、行政と住民の協働でグリーンインフラのモデル地域を目指したい。

東京都が計画する善福寺川上流調節池計画は、関根文化公園からロケット公園までの、全長5.8kmの調節池トンネルを、地下40mの「シールド工法」で作る計画です。関根文化公園、原寺分橋付近、ロケット公園には立ち退きや公園廃止を前提に、大きな貯水施設も建設されます。工事が始まれば、10年以上、1000億円を超える大規模な工事となり、騒音、低周波被害、大量の土砂を運ぶダンプの交通渋滞や事故、地盤の沈下も想定されます。

東京都市計画河川第8号善福寺川の都市計画変更素案資料より



貴重な地域の憩いの場・
子どもの遊び場を残したい

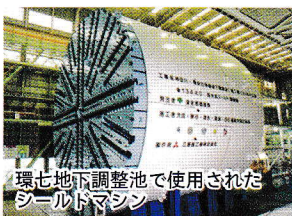
「関根文化公園」は地域の貴重な区立公園です。近隣の園庭のない保育園児たちのお散歩コースになっています。周辺の児童館廃止後は、小学生の貴重な遊び場でもあります。この貴重な区立公園で大規模工事が始まれば10年以上に渡り騒音や振動被害も想定されますが、近隣住民への説明会は昨夏に一度だけ。住民のほとんどは未だにこの計画を知りません。

プラタナスの木を守り、
子どもに豊かな自然を残したい

「ロケット公園」は善福寺川緑地内でも特に象徴的な公園です。多くの遊具やプラタナスの大木が何本も聳え立ち、真夏の炎天下でも過ごしやすい特別な場所です。また、センター広場は毎朝100名を超える人々がラジオ体操に励み、子ども達がサッカーやバスケットボールを楽しむことができる貴重な広場。巨大な取水管理施設の建設により多くの木が切り倒され、景観は一変します。

振動、騒音、トラックの往来だけではない！ 「シールド工法」の問題点

深度の深い地中をシールド工法でトンネルを掘ることは、一見、地上には影響がなく、安心安全のようにも思われます。しかし、トンネルを掘ることにより地下の水脈等に影響を



環七地下調整池で使用された
シールドマシン

えると、トンネルから離れた場所でも地盤沈下が起こる可能性があります。実際に外環道工事では調布でトンネルから100m離れたところの地盤が沈下しています。また、水脈に与える影響が緩やかな場合、トンネルが完成してから数年経って周辺地域で地盤沈下等が発生する可能性があります。シールド工法のセグメントについては、耐震性に関する情報が公開されておらず、震度7以上の地震に耐えられるかも不明です。このように、シールド工法は、まだ安全性が確立していない工法であるため、周辺住民の生活に大きな影響をもたらす可能性がある工法なのです。



外環道シールド工事の影響で…
調布市の住宅街で道路が陥没
(2020年10月)